

第二回 長府庭園あじさい俳句大賞入賞句

賞	句	俳号	評
最優秀賞	杖置きて シャッター軽く 額の花	土谷 理及	紫陽花の美しさに思わず杖を手から離して写真を撮ったのでしょうか。「シャッター軽く」に浮き立つ気持ちが表れているようです。
優秀賞	海図でて 海より碧し 四葩かな	保田 尚子	壮大なロマンを感じる句ですね。紫陽花の「碧」が海からきているという発想が素敵です。
	迷い道 紫陽花の色 賭けてみる	三木 七七美	広い庭園の中、紫陽花の色を頼りに迷いながら歩いているのでしょうか。「賭ける」という言葉に遊び心がありますね。
佳作	雨上がり 昨夜と違う 紫陽花が	竹村 常子	色を変えながら咲く紫陽花の変化に気づいたささやかな喜びが感じられます。
	潮匂ふ 長府の庭や 濃あぢさゐ	今城 仵	嗅覚と視覚を合わせることで庭園の雰囲気がよくわかる句です。
	竹林の 風は七色 濃紫陽花	平川 扶久美	紫陽花の別名は「七変化」ですが、風が七色という発想がいいですね。
	あじさいの 彩さざ波に ちりばめり	三宅 仁代	色とりどりに咲く紫陽花たちを波に例えられているのでしょうか。きらきらした紫陽花の色が浮かびます。
	踊り口 閉じ紫陽花の ひとりごと	野尻 美智子	茶室の入り口（踊り口）が閉じられているという密閉感と「紫陽花のひとりごと」という謎めいた言葉が合っています。擬人化も効いていますね。
	庭園の 紫陽花淡し 夢のごと	阪野 律子	庭園という囲われた場所で美しい色彩の中にいると現実を一瞬忘れそうになりますよね。
	紫陽花の 零雨に濡れて 鯉跳ねる	蓮	紫陽花に静かに降りかかる雨と池の中から突然跳ねる鯉。静と動の対比が活きています。
	花房の 重み地に着く 七変化	甲斐 のぞみ	ぽってりとした紫陽花のまりの重さに着目した点が新鮮ですね。
	傘を傾けても 触るる 濃紫陽花	青池 亘	雨に濡れるのも厭わずに触れてみたくなるような美しい紫陽花だったのでしょか。光景が目には浮かびます。
	紫陽花も 地蔵もずぶ濡れ 吾もまた	坂本 悦子	突然降りだしたスコールのような雨にみんな平等に濡れてしまうというユーモアが感じられる句です。

選者 内野聖子氏 山口県立下関工科高等学校 教諭

句歴 句集「猫と薔薇」、元「船団」会員、元「e船団」選者、俳句甲子園地方大会審査員、NHKBS「俳句王国」出演、その他各種メディアで紹介

選句にあたって

今回もたくさんの方のご応募をありがとうございました。そしてまた今回も13句を選ぶのにとっても苦心いたしました。バラエティーに富んだ句が多く、その中でも感動が素直に詠み込まれている句や着眼点が新鮮な句を中心に選ばせていただきました。重ねてお礼申し上げます。

内野聖子